

『素晴らしい何かに向かって』

地質学的タイムスケールについての考え

アンドレイ： いつか私たちの存在は、他の多くの人生を目撃してきたこの巨大な惑星の上に堆積した非常に薄い層にすぎない存在となるだろう。

ソー： はい、私たちがほこりであり、ほこりに戻ることがわかっているのは、奇妙な慰めです。

エリシャ： 一つのレベルで捉えれば、これは確かに真実である。しかし、別のレベルで捉えるならば、私達は、単なる原子や分子以上の存在です。私達は発展過程の一部でもある。

エリヤ： (眉毛を上げる) 発展する過程?人間は、発展の痕跡なんてほとんど残さず、愚かな行動を繰り返してばかりいる。

エリシャ： 物の見え方は、それぞれの持っているタイムスケールによって決まる。もし、あなたがほんの数世代を見て、私たちの種を判断すなら、進歩の痕跡を見出すことは難しいでしょう。しかし、我々長い長いタイムスケールを用いるなら、きっとあるパターンが現れるはずだ。我々は、驚くような何か素晴らしいことに向かって進化している!

エリヤ： 素晴らしい? (ちょっと笑って、この会話から離れる) まあ、何とでも言っていなさい!

- T Newfields (和訳: Teresa)

開始: 2017年 新台北市・♪ 完成: 2017年 横浜市

